

Ⅲ コピーブロック

小学校 4 年生以上・1 時間 30 分

体力と記憶力、そしてチームワークが決め手。ワイワイガチャガチャとブロックを積んでは走り回り、子どもから大人まで楽しめるゲームです。

1 ねらい

グループで課題を達成していく過程で、以下のことに気づくことがねらいです。

- (1) 言語によるコミュニケーション（「伝える（話す）」「聴く」「質問する」）の方法及びその難しさ、大切さ
- (2) グループにおける自分や他のメンバーの役割
- (3) グループで課題を達成する上での協力することの大切さ

2 対象および人数

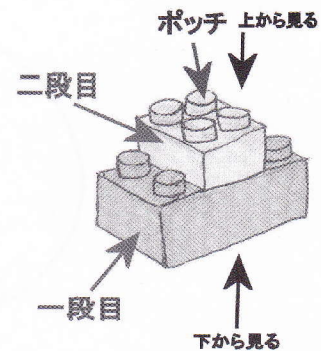
- (1) 小学校4年生以上
- (2) 1グループ5～7人 ※いくつかのグループが同じ場所で同時に実施することができます。

3 準備するもの

- (1) おもちゃのブロック 1グループ1セット+練習見本用+本番見本用+ファシリテーター用
※ブロックは各グループとも同一セットであること。

※基本セット

- ◎ポッチ16個（青1）
 - ◎ポッチ8個（赤3、白3、黄2、青2、緑2）
 - ◎ポッチ4個（正方形）（赤2、白3、黄3、青2、緑2）
 - ◎ポッチ4個（長方形）（赤2、白2、黄2、青1、緑2）
 - ◎ポッチ2個（赤2、白3、黄2、青2、緑1）
 - ◎溝ありポッチ2個（青2）
 - ◎小さいポッチ16個（赤1）
 - ◎車輪パーツ（青2）
 - ◎溝ありポッチ4個（青1）
 - ◎ブロックに穴ありポッチ6個（黄1）
- ・・・全49個



※P93にカラーイラストで掲載しています。

※練習用モデルのブロック数は、グループの人数分程度。本番用モデルのブロック数は、20～25個程度が適当である。（小学生に実施するなら数を減らすほうがよい）

- (2) モデルを置く台（下からのぞける程度の高さがよい）
- (3) 台は透明の板（ガラスでなく割れない素材：アクリル板など）を用い、下からも見えるようにする。
※鏡を使って作品の下において下からも見えるようにする方法もある。

- (4) タイマー（ファシリテーター用）

- (5) ふりかえり用紙 1人1枚<P86～88参照>

- (6) グループ発表用記録用紙（A4用紙：裏紙でも可） 1グループ1枚

4 時間 1時間30分

- (1) 導入 10分
- (2) 実習（ゲーム） 40分（練習10分+本番30分）
- (3) ふりかえり 30分
- (4) まとめ 10分

5 課題の指示

- (1) 与えられたブロックを用いて、グループ全員が協力して、離れたところにあるモデルと全く同じもの（正解の形）を作り上げてください。
- (2) 最初に練習問題に取り組み解決してください。
- (3) 次に本番に取り組み解決してください。

6 ルール

- (1) グループの中で順番を決め、必ず一人ずつモデルを見に行きます。
※全員が見に行き終わったら、また最初の人から順番に見に行く。
- (2) 見に行くときには順路を守り、走らないようにします。
- (3) 見に行って戻ってきたら覚えてきたモデルの形をグループで組み立てます。

7 進め方

手 順	留 意 点
<p><準 備></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 練習問題のモデルを離れた場所にセットしておく。 ※練習問題後に本番のモデルをセットする。 ② モデルを置いてある場所までの経路を板書する。 ③ 安全確保のため、センターラインなどを設置し、片側通行にする。 ④ あらかじめ5～7人のグループに分けておき、各テーブルに座らせておく。 	
<p>(1) 導入 (10分)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各グループにブロックの入っている袋を取りに来てもらう。 ② 実習名、ねらいを提示し、問題解決の実習をすることを説明する。 ③ 課題とルールの説明する。 ④ グループでモデルを見に行く順番を決めてもらう。 ⑤ 正解の形ができあがったらファシリテーターに完成形を提出することを確認する。 	<p>・提出された作品はグループ名を書いた紙を添えて見えない場所に保管する。</p>
<p>(2) 実習の実施 (40分)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① まず練習課題を実施する。(10分間) ② 各グループの最初の人をスタートラインに並ばせスタートする。 ③ 実習を5分間とし、完成できていないグループがあっても終了する。 ④ 全グループ提出後、モデルを持ってきて答え合わせをする。 ⑤ その後に本番の課題を実施する。(30分間) ⑥ 練習課題と同様の手順で実施し、制限時間を20分程度に設定しておき、最初にできたグループの提出時間の5分後に終了とする。 	
<p>(3) ふりかえり (30分) P85参照</p>	
<p>(4) まとめ (10分) 「話す」「聴く」「協力する」という観点で発表で出たふりかえりをもとに話をする。</p>	<p>・グループの発表で出てきていないことがあれば補足する。</p>

8 ふりかえり

(1) 個人記入

ふりかえり用紙に個人で記入してもらおう。具体的にはどんなことに気づいたかも記入してもらおう。

(2) グループ共有

ア 司会・記録・発表者を決めてもらう。

イ ふりかえり用紙の質問項目1～5について順番にグループ内で発表する。

(3) 発表

主に「コミュニケーション」「グループへの貢献」「グループ内で起きていること」の観点について発表してもらおう。

9 まとめ

各グループの実習の様子や発表をふりかえりながらまとめます。ファシリテーターは実際にあったことなど実習中の具体例を交えて話すとういでしょう。

まとめにあたっての観点(例)として次の項目があげられます。

(1) 伝える

ア 責任を持って、他のメンバーに正確に情報を伝えることができたか。

イ 他のメンバーが求めている情報をタイミング良く伝えられたか。

(2) 聴く

ア 他のメンバーの情報をしっかり聴くことができたか。

イ そのとき何についての情報が話題になっているか常に把握していたか。

(3) 質問する

分からないことや確認したい情報があるときに適確に質問できたか。

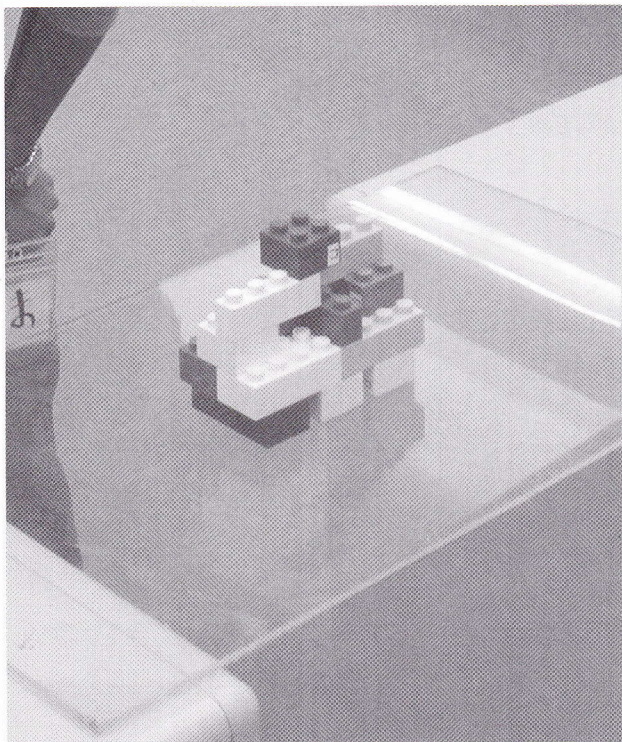
(4) グループへの貢献

ア 前向きに参加し、協力できたか。

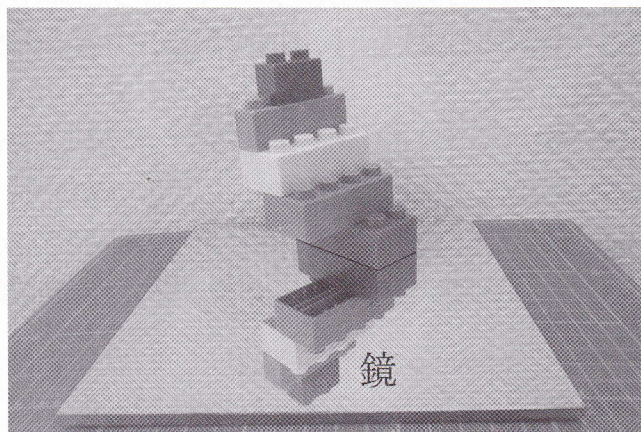
イ 発言や質問がグループのやる気を引き出しグループに貢献できたか。

(5) グループ内で起きていること

メンバー(自分も含む)の役割や動きについて気づいた点はあったか。



※透明な板の代わりに「鏡」でも可



※P92 にカラー写真で掲載しています。